

題目「養育費を求めた非婚シングルマザーの経験に関するケース・スタディ
—『認知』を提起する影響についての一考察—

富田 陽子（お茶の水女子大学 博士後期課程）

婚姻規範が根強い日本社会でも 1980 年代以降離婚が増加し始め、2016 年までひとり親世帯の増加傾向が続いた。ひとり親世帯の 9 割を占める圧倒的多数は母子世帯である。R3 年度全国ひとり親世帯調査によれば、2021 年時点での母子世帯数は約 119 万 5000 世帯であり、内訳は離別理由 79.5%、非婚理由 10.8%、死別 5.3%であったが、母子世帯数の増加に付随して 2000 年代以降社会問題として認知されはじめたのは、母子世帯は 86.3%という就労率にも関わらず、相対的貧困率が 48.3%と極めて高い事だ。社会構造的な問題から、母子世帯が複合的な問題を抱えやすい事は繰り返し指摘されてきたが（赤石 2009, 神原 2010; 2020）今現在も社会経済状況に大きな改善はみられず、コロナ禍を経て多くの母子世帯は依然として厳しい生活を強いられている。

このような背景の下、2000 年代初めより、養育費政策が重要性を増している事に注目したい（下夷 2008; 2012）。2007 年に創設された養育費相談センターでは、離婚前後の夫婦に養育費確保の重要性について周知を強化する他、専門相談員を設置、家庭裁判所への同行を含む個別案件への支援を開始するなど、養育費政策は強化された。近年は支払者の責任追及姿勢を強めるなど、支援方法はさらに細分化、強化され、養育費の取り決め率は 2010 年 37.7%から、2021 年には 46.7%に上昇している（R3 年全国ひとり親世帯等調査）。さらに「希望する全てのひとり親世帯が養育費を受領できるように」というスローガン（「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2022」）からは、養育費の請求は育児全般を担う母親の権利として浸透し始め、また養育費政策は、婚姻解消後の非監護親である父親の責任を強化する規範形成に寄与したと言える。

しかし養育費取り決め率は、離別母子世帯と非婚母子世帯での格差に留意すべきである。取り決め率が上昇した 2021 年時点でも、離別が 51.2%であるのに対し、非婚母子世帯は 13.6%と顕著に低い。なぜここまでの差異がでているのだろうか？下夷（2012）は非婚母子世帯には、父子関係を求めない選択をした一定数の母親達を推測されるため、養育費の取り決めの支援に関しては慎重が必要であると指摘する。養育費に関わる非婚母子世帯の状況は複雑であり、無論父親を求めない選択は、十分に尊重されるべきである。しかし一方で、父子関係を求め、養育費を求める非婚シングルマザーも一定数存在する。では養育費を求める母親達は希望どおり取り決めに成立させ、受領する事はできているのだろうか？「希望する全てのひとり親世帯が養育費を受領できるように」する事が養育費政策の目標であるのならば、養育費を請求する非婚シングルマザーの選択もまた、同様に尊重されるべきである。

離別と異なり、婚姻を経ずに出産した非婚シングルマザーが子の実父に養育費を求めるには、子の実父から「認知」され、父子関係を証明することが必須となる。社会学においては田間（2022）がその複雑さが問題視する様に（田間 2022）、「認知」を提起する事にかかる時間・費用・労力面での母親への負担は示唆されるものの（Hertog 2009, 富田 2021）、それが養育費請求に、どの様に関連するのかは明らかにされていない。以上を踏まえ本研究では、養育費を求める非婚シングルマザー達が、希望通り取り決めに成立し受領する事ができているのか、考察する事を目的とし 2025 年 1 月～3 月に調査を行った。

調査対象の条件としては、①婚姻を経ずにひとりで婚外子を出産し、育児する（あるいは過去にその）経験があること、②婚外子出産時の年齢が 25 歳以上であること、③妊娠判明時に就労し経済的に自立していたこと、④子の出産が 2005 年以降である事、⑤子の実父に養育費を求めた事、の 5 つであり、6 名の対象者に協力を得た。さらに、どの様な経緯で、なぜ養育費を求めたのかを明らかにする仮説生成の目的から、ケース・スタディによる分析を行った。対象者 6 名の内、養育費の取り決めが成立したのは 4 人であり、2 名は取り決め不成立であった。母親が認知を提起し、養育費を請求する事は時間・費用・労力以外にも精神的な負荷が高いため、出産前後の他者への依存（ファイマン 2012）が必要な時期に、母親の生活の基盤を揺るがされるケースが 3 ケース確認された。非婚シングルマザーの養育費請求の実情を把握し、シングルマザーに特化した特に精神面での社会的なサポートが急務である。

（キーワード：養育費、認知、非婚シングルマザー）